

母性看護学授業全体計画

専門分野Ⅱ	開講年次	単位	時間	担当者
母性看護学	2・3年次	6	195	専任教員
科目構成	母性看護学概論 母性看護学援助論Ⅰ 母性看護学援助論Ⅱ 母性看護学実習			
授業の目的	1. セクシュアリティの意義と母性のライフサイクルの特徴を理解し、健康な母性機能を保持し向上する看護が実践できる基礎的な知識・技術・態度を習得する。 2. 臨地実習では、実践体験を通して、母性看護に必要な基礎的能力を養う。			
授業科目	母性看護学概論	母性看護学援助論Ⅰ	母性看護学援助論Ⅱ	母性看護学実習
単位・時間	1単位 30時間	2単位 45時間	1単位 30時間	2単位 90時間
開講時期	2年次前期	2年次前・後期	2年次後期	3年次
学習の内容	母性看護の概念 母性看護と倫理 母性看護と看護倫理 母性のライフサイクルと看護 母性看護の目標 母性看護と活動の場 母性看護の機能・役割 母性看護の現状と課題	妊娠期の看護 ・正常に妊娠期を経過するための看護 分娩期の看護 ・正常に分娩期を経過するための看護 ・ハイリスクにある産婦の看護 産褥期の看護 ・正常に産褥期を経過するための看護 ・ハイリスクにある褥婦の看護 新生児期の看護 ・正常な新生児期を経過するための看護 ・ハイリスクにある新生児の看護	ウェルネス看護診断 妊娠期の看護過程 産褥期の看護過程 新生児の看護過程 母性の看護技術 妊婦への看護技術 産婦への看護技術 褥婦への看護技術 新生児への看護技術	産科外来 産科病棟 新生児室
テキスト 教材 副読本	母性看護学[1]、 母性看護学概論 医学書院 母性看護学[2]、 母性看護学各論 医学書院 親と子のきずなはど うつくられるか 医学書院 国民衛生の動向	母性看護学[2]、 母性看護学各論 医学書院 周産期の看護技術 医歯薬出版	母性看護学[1]、 母性看護学概論 医学書院 母性看護学[2]、 母性看護学各論 医学書院 周産期の看護技術 医歯薬出版	
関連科目	生命倫理 行動科学 生活と行動 社会学 法と看護 疾病・治療論Ⅶ 基礎看護学 小児看護学			
評価方法	筆記試験	筆記試験	参加状況・レポート	評価表による総合評価 (出席・実習内容)